

ゆりはま議会

第60号

平成30年11月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



行政ミスによる不要な支出に待った
将来水道料金の値上げへ
一般質問～町政を問う～

9
10
14

「私もやっと100歳」
(羽合地区 敬老会)

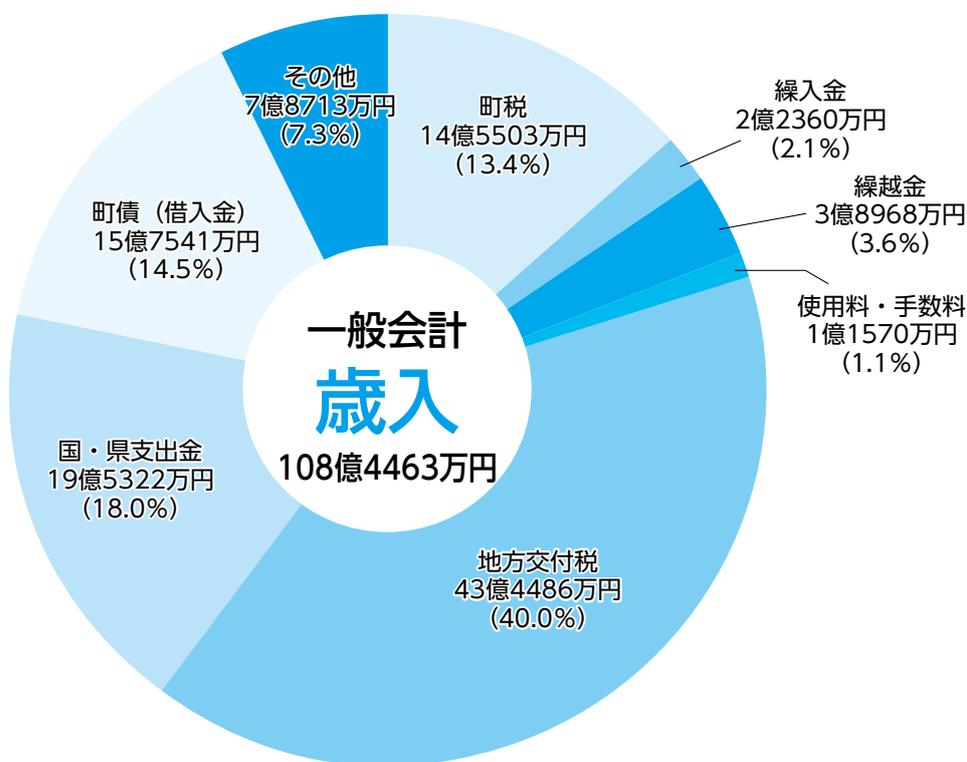
9月
定例会

約2億円を拠出 ~地震・台風・豪雨・豪雪 などの対応経費~

9月定例会は、9月13日から25日までの13日間の会期で開かれました。
平成29年度決算認定は、決算審査特別委員会を設置し、審議の結果、18会計すべての決算を原案のとおり認定しました。

また、町長から提案のあった補正予算、条例の制定など16議案も原案どおり可決しました。

一般質問では、6人が登壇し、町政全般にわたり、町長、教育長に質問しました。



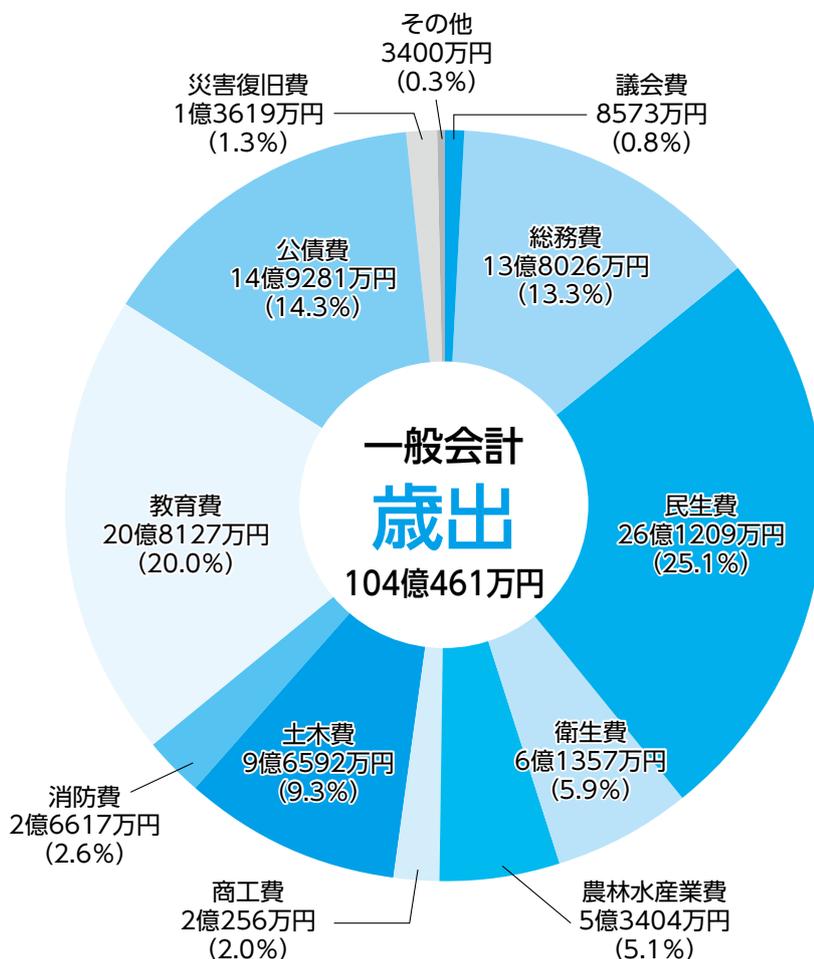
町債（借金）と基金（貯金）の状況

【町債（借金）の残高】

会計名	28年度末残高	29年度末残高	増減額
一般会計	120億6113万円	122億6217万円	2億104万円
特別会計	62億2409万円	57億6934万円	▲ 4億5475万円
計	182億8522万円	180億3151万円	▲ 2億5371万円

【基金（貯金）の残高】

28年度末残高	29年度末残高	増減額
65億8081万円	66億6659万円	8578万円



平成29年度 特別会計・企業会計の決算状況

【特別会計】

会計名	歳入決算	歳出決算	会計名	歳入決算	歳出決算
住宅新築資金等貸付事業	740万円	740万円	温泉事業	873万円	667万円
高齢者及び障がい者住宅整備資金貸付事業	4万円	4万円	下水道事業	13億1066万円	12億9909万円
国民健康保険事業	21億6462万円	21億5611万円	農業集落排水処理事業	1億7882万円	1億7882万円
後期高齢者医療	1億7381万円	1億7359万円	簡易水道事業	3734万円	3622万円
介護保険	19億4189万円	18億7103万円	財産区(6財産区)	893万円	818万円

【企業会計】

会計名		収入	支出
国民宿舎事業	収益	2億9121万円	2億7777万円
	資本	0円	8414万円
水道事業	収益	2億297万円	1億7141万円
	資本	2142万円	6251万円

決算審査 特別委員会

平成29年度一般会計及び各特別会計・企業会計の決算を、決算審査特別委員会で審議しました。

ふるさと納税

返礼品の開発は

問 返礼品の引き下げがあり、納税額が伸び悩んでいるのでは。

答 返礼品を3割に抑えたことで納税額は落ちたが、平成28年度とほぼ変わらず1億円を超えた。

問 事務をまちづくり会社に委託しているが、返礼品の開発をしていくのか。

答 平成29年度の返礼品は67品目だったが、平成30年度は8月末で1300品目とした。

地域おこし協力隊

地域とかがわりを

問 新しい事業は、隊員任せでなく町職員が進めて、隊員に引き継ぐ方がいいのでは。

答 隊員は地域のことがかからないので、町と連携を取りながら、業務を行っている。

問 今回採用した、泊地域の空き家対策を担う隊員は、地元の人に信用していただくことが必要。何かあるごとに積極的にかかわり、隊員がどんな方なのかを分かってもらうようにしたい。

公民館運営

後退しているのでは

問 公民館運営審議会が一回も開かれていない。予算計上しているのに、なぜ開催しなかったのか。

答 平成29年度は大きな変化がなかったが、平成30年度は課題があるので、開催する。

問 公民館運営が後退しているという声を聞く。中心となる活性化推進員や運営委員の役割の理解が不十分ではないか。

答 運営委員の役割は、区長会などで説明していく。役割や機能が果たせる取り組みをしよう。



公民館活動でコサージュづくり
(田後地区 出前講座)

加工所施設

設備の充実を

問 町内3つの施設を利用して加工品を作っているが、道具が古い、機械が壊れているという問題が出ている。

答 要望により修繕は随時行っている。

問 加工所の道具の点検は毎年行っているのか。道具が壊れていて、作ったものが品物にならなかったと聞ける。

答 点検は定期的に行っているが、点検が少しおろそかになっ
ていたところがあった。



真空パック包装機（ふれあい加工所）



休業しているふる里公園のレストラン

グラウンドゴルフふる里公園 レストランの今後は

問 レストランの外構工事を行ったが、レストランは休業している。今後の方向性は。

答 レストランのウッドデッキを整備したので、休憩スペースとして使用できる。
レストランの運営は、地元の声も聞きながら進めていきたい。

問 施設全体を町で借り受けて、休憩スペースや展示スペースとして活用できないか。

答 今は、泊地区から希望があれば使っていたらいい。シーズン中の土日は開けるなど、存続していきたい。

スクールバス

運転手の確保は

問 運転手不足で運行が困難とあるが、どう解消していくのか。

答 今は、一つの会社に委託しているが、複数の会社と契約を行う。

問 町雇用のバス運転手にやってもらえないのか。

答 そういう方法でやっていけるのか検討していきたい。

収入未済金対策 滞納者への対応は

問 料金を複数滞納している人の生活状況をつかんで、相談窓口につなげることはできないのか。

答 収入未済金は各課で把握しているが、その中で生活困窮の方があれば、情報収集して支援につなげていきたい。

年に2回、滞納整理対策本部を開催し、各課が抱える案件を連携して協議している。情報を共有しながら進めていきたい。

平成29年度決算審査特別委員会 審査報告（抜粋）

決算審査特別委員会に付託された、18会計の決算と2会計の剰余金の処分について、すべて原案のとおり認定及び可決しました。

決算審査過程での主な指摘・意見・改善事項を付記して、委員会報告としました。

ふるさと納税

返礼品の単価見直しにより納税額が微増となった。返礼品の品目確保、関係人口へのアプローチを勘案し、今年度工夫をされたい。

スクールバス

運転手不足によりバスの運行が困難とのことだが、通学の足を確保することは大切。ほかの業者にもアクシヨンを起こすことはもちろんのこと、町関係のバス運転手の大型免許所有の有無を確認するなど、不安が生じないように早い段階から検討されたい。

公民館運営

新しい公民館体制で進めているが、運営が以前より後退しているという意見がある。公民館活動は、住民が参加することが大事

なことである。全体をまとめていくのが、地域活性化推進員、公民館運営委員の役目である。委員の皆さんに公民館組織の役割、委員の役目などの理解や認識をしてもらうことが、まだ不十分ではないか。

加工所の運営

「ふれあいセンターあじさい」、「活性化センターはまなす」、「ふれあい施設農産物加工所」などを利用して、地域の産物で加工品を作ったり、商品化するなどしているが、道具がない、機械が壊れているなど不具合が出ている。

担当課は、町内組織の活動状況を把握しているのか。道具などの点検はできているのか。もう少し関わりを持たれたい。

決算審査意見

代表 監査委員 磯江俊二
議会選出 監査委員 光井哲治

平成29年度湯梨浜町歳入歳出決算書などを審査して、次のとおり意見を付しました。

不用品について

一般会計不用品は、3億1729万円。

不用品は通常1月末に精査し3月議会に補正議案を提出するが、これらの事務処理が形式的になっ

ていないか。改めて意識の徹底と原点到立ち帰って改善が必要である。

収入未済金対策

滞納事案の削減に向け案件ごとに方針を決定しながら「湯梨浜方式」をめざすことを提言してきたが、理解と意欲がま

だまだ不十分である。今後は、論理的な検討を実施していくことが不可欠である。

費用対効果について

松崎駅前拠点等整備事業は、移住定住促進やコミュニティづくりを進める、地域のにぎわい創出の拠点整備である。

松崎駅南側の農地耕作条件改善事業は、水田を梨樹園地に転換し、新品種の栽培、効率的な作業を導入し、収益性の高い梨生産活動を実施する。

これらの事業は、単年度の事業単位では目的達成は困難であり、粘り強い取り組みと施策評価をして「費用対効果」を考察することが必要である。



米田決算審査特別委員長の審査報告

平成30年度 一般会計 補正予算

☆一般会計は、歳入歳出それぞれ3億48万円を追加し、補正後の予算の総額を104億8641万円としました。主な内容を紹介します。

新中学校の情報 通信環境の整備

・ゆりはまネット経費 **756万円**
ゆりはまネットの新規加入件数が増えたため、引込線工費を増額する。新中学校への通信用光ケーブルの引込工費を追加し、情報通信環境を整備する。

四ツ手網を解体 撤去

・観光臨時経費 **58万円**
観光用に設置された、水明荘の裏の湖畔の四ツ手網が老朽化し、倒壊の危険性があるため、解体撤去工事を行う。



解体撤去する四ツ手網（水明荘裏）

タニタとの連携

・食と健康のまちづくり事業（地方創生） **1073万円**
食と健康をテーマに地域活性化に取り組む民間企業、㈱タニタへルリンクと連携する。最新の健康機器や健康管理システムの導入と、地域食材を活用したヘルシーメニューを提供して、健康増進と産業活性化をはかる。

調理員を追加配置

・学校給食センター管理運営経費 **257万円**
平成31年1月からの新しい給食センターの稼働にともない、新たに4名の調理員を配置するための人件費を増額する。

新たな取り組みを 支援

・ゆりはまじげ産業支援事業（地方創生） **255万円**
町内事業者の新たな取り組みのリエラート事業の拡大に対して、農商工連携を進めるため、経費の一部を支援し、産業の振興と雇用創出につなげる。

箱折り機の更新

・園芸産地活力増進事業補助金 **1074万円**
JA東郷梨選果場の箱折り機6台のうち、2台を更新し、スムーズな空箱供給により作業効率が向上するように、県と町とで補助を行う。



箱折り機を入替え（JA東郷梨選果場）

条例制定

管理運営基準を 制定

☆湯梨浜町松崎駅前多世代交流センターの設置及び管理に関する条例

生涯活躍のまちの推進にあたり、住民及び移住者、来町者などの多世代地域交流の場として、にぎわいのある暮らしを享受できる環境を形成する。

企業の振興に 取り組む

☆湯梨浜町中小企業・小規模企業振興基本条例
町の責務、支援団体の役割などを明らかにし、地域社会が一体となって企業振興に取り組む、住みよいまちの実現をはかる。

本会議での採決結果 9月定例会

議案の内容 (○：賛成 ×：反対)	松岡	浦木	光井	会見	米田	寺地	上野	濱中	増井	竹中	河田	結果
平成29年度湯梨浜町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	賛成9人 可決
平成30年度湯梨浜町中央公民館及び東郷支所庭園管理委託業務発注内容の誤りに係る契約解除の和解及び損害賠償の額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	賛成9人 可決
湯梨浜町松崎駅前多世代交流センターの設置及び管理に関する条例の制定について	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	賛成7人 可決

※議案の採決は、入江議長を除く11人で行います。

※上記以外の31議案は全会一致で可決及び認定しました。

請願・陳情 審査

常任委員会に付託した請願・陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件名	陳情者	審査結果
沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意志」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出についての請願	沖縄と連帯するとっりの会 共同代表 石田 正義 一盛 真 伊藤 英司	継続審査
憲法9条改定の取組みの中止を求める意見書採択の要請について	湯梨浜9条の会 代表 信原 和裕	継続審査
臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	移植ツーリズムを考える会 理事 井田 敏美	採択 (政府に意見書を提出)
地方議会の提出する意見書に係る関係行政庁の回答を求める意見書の提出について(陳情)	足羽 佑太	継続審査
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について	鳥取県教職員組合 中部支部長 尾崎 豊久	採択 (政府に意見書を提出)

住民と議会の意見交換会

「住民と議会の意見交換会」の日程が決まりました。

事前申し込みは不要です。みなさんのお越しをお待ちしています。

開催日	時間	会場
11月22日(木)	午後7時	ゆるりん館(松崎駅前旧Aコープ) 予定
11月27日(火)	午後7時	中央公民館 泊分館
12月4日(火)	午後7時	役場羽合庁舎 別館講堂

8月臨時会 採決結果 (賛成：○ 反対：×)	松岡	浦木	光井	会見	米田	寺地	上野	濱中	増井	竹中	河田	結果
平成30年度湯梨浜町中央公民館及び東郷支所庭園管理委託業務発注内容の誤りに係る契約解除の和解及び損害賠償の額の決定について	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	賛成5 反対6

低レベルであざれた事件

本年5月に中央公民館と東郷支所を一括し庭園管理業務を発注した際に、契約締結後、予算を超え執行した行政ミスが発覚。

その結果、全面的な行政瑕疵として契約解除するため、請負者へ損害賠償金を支払おうとする議案が提出された。

原因は、担当者が議決後の予算書を確認せず、概算金額で発注し契約締結した。

契約解除後は、予算内で正式に再入札を行い、速やかに業務執行したいというもの。

月例報告会で

発覚

7月月例報告会で、町民課より説明を受けた。

本来、個別発注していたが、経費削減のため一括発注した。入札は不落札だったが、示談で契約に至った。

その数日後、予算オーバーが判明し、協議した結果、不正は放置できないと判断。契約解除し正式に再入札すべきと報告があった。

臨時議会で伝家の宝刀

8月17日に臨時議会が開催され、補正予算など7議案の審議が行われた。

同議案は、質疑応答後に採決され、賛成5、反対6の僅差で否決された。

その後、補正予算に対する動議が出され、修正された補正予算案が提出され、審議の結果、賛成多数で採択された。

問 賠償金を払わずに済む選択を考えるのが、行政の使命では。

答 無い予算で契約してしまっており、取り消すのが正しいと考える。随意契約の内容を削除する格好の変更には無理がある。

問 東郷支所では、職員が低木剪定するやり方は、おかしいのでは。

答 例年の予算では、職員自ら剪定対応してきており、今回だけが異例の措置ではない。

その後の協議 《常任委員会》

9月定例会で再提案されるために、常任委員会で事前協議を行った。

問 業務着手していない状態で、実質的な損害は発生しないが。

答 民法上、業務で得られる予想利益額を補償しなければならない。

問 東郷支所と中央公民館、隣接地で委託内容を合わせるべきだ。

答 ほかの植栽も、来年度以降の予算を検証する。

最終判断 《9月定例会》

9月定例会において、賠償金の支払い止むなしと判断し、可決した。



東郷支所の園庭植栽



中央公民館の園庭植栽

将来、水道料金の値上げへ

☆水道事業ビジョンは、第3次総合計画での方針、厚生労働省が新水道ビジョンで掲げた安全・強じん・持続の政策課題について、水道事業がめざすべき方向性と実現のための方策を示すもの。

水道事業の見通しは、給水人口の減などで、平成39年度には収益が、18.9%減となるため、水道料金の改定が必要となる。



安全な水の供給に向けて（羽合浄水場）

問 水道事業全体のビジョンのスケジュールは。

答 平成31年度には、東郷地区と羽合地区の接続ができるよう進めている。

問 平成39年度の水需要は相当減の見通し。新たに水量を確保するのか。

答 まだ水の確保は足りないと考えるので、その計画もしている。

問 5年程度の見通しをして、料金改定をやらざるを得ないことを、住民に早めに周知していくべき。

答 住民への周知期間が必要と考える

ので、料金改定検討会を立ち上げ、できるだけ早く進めていく。

台座は残るが安全を確保

☆昨年8月に傾き、10月に水没した、町有1号源泉ポンプの撤去工事の入札は不落札。6月に補正予算が承認され、撤去工法の方向性が固まった。

問 今回の決定は、最初の計画と同じものでは。

答 作業の安全対策を考えた結果、最初の設計内容とほぼ同じになった。

問 台座が残るが、支障はないのか。

答 形状を確認し、支障がある部分にはブイを設置する。

今年度も14人が交流

☆「アロハフレンドシップ」は、湯梨浜町とアメリカハワイ郡の姉妹都市交流事業。

今年度は、アロハメイツ14人（中学生）が8月15日から1週間ハワイ島を訪問した。

問 個人負担はどれくらいか。

答 経費のおおむね2分の1で、今回は13万円の負担。

問 選考基準は。

答 応募方式で、作文と面接。ホームステイの受け入れ家庭などの項目を設け、加点方式で決めている。



ハワイの中学生と現地交流（ハワイ島）

予定通り11月にオープン



オープンに向け工事が進む多世代交流センター
(愛称 ゆるりん館)

☆松崎地区の旧Aコープ跡地に、多世代交流拠点施設として、松崎駅前多世代交流センターを設置。その事業を定める条例の説明を受けた。

問 条例が提案されたが、指定管理者はどうなるのか。マル

☆シエ部分の使用料は。「湯梨浜まちづくり(株)」を指定管理者に選定したい。使用料は、1平米300円。

問 マルシエ部分の採算割れなどが危

惧されるが、運営はどうなるのか。

答 自主事業運営であり、指定管理者が責任を持って運営していただく。

問 予定通り11月にオープンできるのか。事業者は内定しているのか。

答 10月末が工事完成予定。「全日食」を入れて、スーパ形式営業を検討中。

問 足湯計画はどうなったのか。

答 温泉管理組合と話をしているところ。前向きに検討している。

水明荘の方向づけは

☆平成27年に経営改善の調査の中で、経営改善計画を平成28年度から3年間を期間とし、その間の取り組み状況により、今後の方向性を定めるとした。現在も経営改善に向けて取り組みを進めている。

方向性の選択肢は、直営存続、指定管理に移行、譲渡の3つのいずれかであると確認した。

問 支配人の考えは。

答 自信の持てるところは、地域密着施設になっていること。町営だから進められること。

改善点はあるが、良くなってくると思う。

新たな病害にも対応

☆当初予算は、ジャンボタニシの駆除剤の購入助成だったが、綿葉枯れ病の被害も蔓延しており、両方に効果のある秋耕うん、耕起的な事業にシフトする。

問 駆除剤購入助成は、複数農家が申

請することが条件だったが、今回は、町が被害の情報を把握して決めるのか。

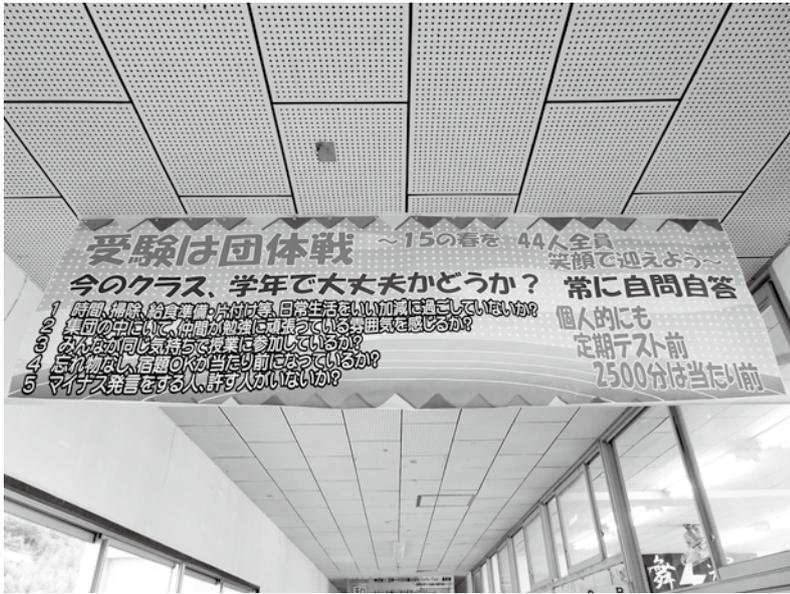
答 農事組合で取り組んでもらい、全体の取り組みとして推進していく。

金額的には一反当たり800円。トラクターの燃料などの必要額を助成する。



ジャンボタニシによる稲の被害

学校間で大きな格差



受験に向け思いを共有（東郷中学校）

☆今年度の学力調査（国語、算数・数学、理科）の結果、小学校では、国語A以外の各教科で、国・県平均を上回った。
しかし、中学校では、全教科で国・県平均を下回る結果で、課題が浮き彫りとなった。

問 小学校全体では好結果だが、羽合小学校の学力不足、そして中学校でも大きな格差がある。

今後の対応は。

答 好成績を上げている学校を参考とした授業を取り入れた。

問 小学校での基礎学力の問題が大きい。教育委員会の積極的な介入と、指導で改善を。

答 担任と児童との良好な関係づくりを、校長と連携して進めていく。

問 コミュニティスクールをいかに活用するかが課題になってくる。保護者、地域も一

体となって取り組む必要がある。

答 コミュニティスクールの活用に努力していく。

地元との事前協議を徹底

☆羽衣石城の災害復旧工事で資金の返還が発生した。

当初は、あずま屋を修繕する計画だったが、地元からの要請で解体撤去とした。

しかし、その後の事務処理を怠り、資金返還に至った。

問 地元としっかり事前協議をした上で、設計書の作成を徹底すべきでは。

答 ほかでも同様に起こる可能性もあり、各課に周知していく。



タオル体操で介護予防

介護保険運営は安定

☆平成29年度の実績については、安定的な運営が行われたと分析をしている。

今後も介護予防や認知症施策の推進に積極的に取り組み、安定的な運営に努めていきたい。

答 人数的に大きな変動はない。介護度の変化による増となっている。

認知症予防の取り組みをしているが、加齢にともなって認知症の発生率も高くなる。

問 今年度の給付費の状況は。

答 6月審査分までの状況は、実績全体でみると昨年並みで推移している。

「子育てアプリ」で 母子の健康支援

☆子育てイベント情報の配信や、妊産婦、子どもの健診データの記録、管理などができる子育て支援アプリ「笑顔ゆりはま子育てアプリ」の無料配信を開始した。

問 サービス提供企業と町との関係は。

答 町との委託契約で、アプリ運営と、母子の健康データを管理してもらう。

委託料は、年額38万8800円。

問 以前、産後健診は産後1か月で行われていたが、産後2週間が不安のピークとい

うことで、2週間で行う町もある。本町の状況は。

答 出産で里帰りしている人もあるので、1か月ぐらいで訪問している。

母親と乳児へ支援 サービスを開始

☆妊娠・出産、育児を支援するため、鳥取県生活協同組合と、子育て支援に関する連携協定を結んだ。

生協が出産1か月前後にプレゼントを提供、その後は隔月で生協が家庭訪問し、母子の見守りなどをを行う。

問 生協のメリットは宅配サービスの利用者増だと思いが、町のメリットは。

答 母子の状況確認など情報収集がで

きる。情報の共有が大きナメリット。

問 サービスの周知は、生協が行うのか。

答 周知は町が行う。母子手帳交付時に、「子育てアプリ」も含めて案内していく。また、訪問、健診時にも案内する。

食と健康で まちづくり

☆ヘルシーメニューなどを提供している㈱タニタと連携し、会員制で活動量計を利用し、日ごろの運動量を計測する。また、タニタ管理栄養士による健康的な食に関するセミナーを開催する。

問 会員300人に活動量計を貸し出すとしているが、会員は誰を想定し、募集は

どのように行うのか。

答 一般会員として、町民を公募。

スポーツ推進委員や食生活改善推進員など、各団体に声をかけて広めた

答 個人が専用サイトでデータの確認

もでき、専属スタッフがデータを基にアドバイスを

する。国保加入者で特定保健指導を受ける人は、町が指導を行う。

問 測定データに基づき、健康指導などを行うのか。



リズム体操で健康づくり



親子でスキンシップ（とうごう子育て支援センター）

一般質問 町政を問う

9月定例会では、6人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。一般質問は、議員が町の事務の執行状況や将来の方針などを町長や教育長に問うものです。

本町議会の質問時間は、1人60分以内で、質問回数に制限はありません。

質問者	質問事項	ページ
浦木 靖	災害防止策は	14
上野 昭二	聖地化へ新ランドマークの創生を	15
	高齢ドライバーへ安全の一手を	15
松岡 昭博	湯梨浜町の農業をどう進めるのか	16
	健康長寿社会をどう実現するのか	16
竹中 寿健	核ごみ拒否条例の制定を	17
	子ども医療費無料化を	17
米田 強美	積極的な生活困窮者支援を	18
	「ハワイゆ〜たうん」の入浴料に補助を	18
増井 久美	3期12年の評価は	19
	保育行政の充実を	19

災害防止策は

町長

住民の防災意識の向上をはかる



浦木 靖

【問】①ここ数年、大災害が多く発生しているが、災害が起こってしまつた地域でも、防災対策は十分やっておられたと思うが、発生してしまつた。

本町でも、そのことを教訓にして、防災に対する再検討が必要ではないか。

②国・県管理の河川・池があるが、連携・情報を密にして、避難経路・避難所を示した「ハザードマップ」を作成し、住民に理解を深める必要があるのでは。

③耐震診断が行われていない建築物に対しての今後の計画は。

【町長】①防災特別対策官による出前講座を行い、自主防災組織の設立・活動の支援を行いながら、住民の防災意識の向上や実践的な行動を身につけていただくよう努力していきたい。

②防災特別対策官によるハザードマップを活用した現地での出前講座を積極的に推進し、住民の皆さんと危機感の共有をはかりたい。

③耐震基準を満たさない施設も存在するので、進行中の事業との調整をはかりながら、個別施設の継続、集約化、複合化、転用、廃止など必要な対策を講じていきたい。



台風により冠水した道路
(上浅津地内)

聖地化へ 新ランドマークの創生を



うえの しのぶ 昭二

町長

新ランドマークへの活用は困難

【問】これまで泊地域の住民の間では、風車を残せないのかという声を始め「多くの公共施設の消滅＝泊地域の衰退」を嘆き、更なる過疎化への加速を危惧するさまざまな声が届いてくるが、町長に届いているか。

【町長】 何と申しても、泊地域住民の想いや気持ち、少しでも汲み取り、オンラインから施工までを一般公募するなど、さまざまな手法・手段が考えられる。そこで、既存施設を改造した、新ランドマークの創生を提案する。デザインから施工までを一般公募するなど、さまざまな手法・手段が考えられる。



撤去のカウンタダウンが始まった風車 (潮風の丘とまり)

【町長】 本年3月定例会で、風力発電施設の撤去について申し上げて以降、風車を惜しむ声を伺っている。施設を撤去することはとても残念だが、熟慮を重ね出した結論であり、ご理解いただきたい。

施設をリニューアルして、新ランドマークへの活用は困難だと思っている。「潮風の丘とまり」を観光資源の核として、グラウンド・ゴルフの国際化や聖地化事業、海の駅とまりのブランド化事業と連携する形で、観光、地域振興に努めたい。

高齢ドライバーへ 安全の一手を

町長

検査や講習会を受けて いただくための活動を連携

【問】近年、高齢者ドライバーの事故が、社会問題化し増加している。

【町長】 都市部は交通機関が発達し、車なしでも容易に生活できるが、地方はできない。

高齢ドライバーの事故防止を、このまま放置してよいのか問う。

そこで、町交通安全協会と行政との協働による、具体策を提案する。

ドライブレコーダーを一定期間、高齢ドライバーに貸与する。

そして、記録されたデータを元に、運転状況をチェックし、自身の気が付かない点を、是正指導することが肝要と考えるが。



ドライブレコーダーで
高齢者の運転をチェック

【町長】 高齢ドライバーの交通事故は、大きな社会問題となっており、社会全体として事故防止に取り組むべき問題と認識している。

11月に実施される県交通安全対策協議会主催の交通安全対策事業では、ドライブレコーダーを使

用した講習会も予定されている。

町交通安全協会と協働する形でドライブレコーダーを活用した検査、指導などを実施するのは困難だと思う。検査や講習会を受けていただくための活動などを連携していきたい。

湯梨浜町の農業を どう進めるのか

町長

意欲ある担い手による 活性化をはかる



まつおかあきひろ
松岡昭博

【問】鳥取県の農業産出額はV字回復傾向にあり、県は、今後のめざすべき農業の姿を明確にした。本町も回復傾向にあるが、農業をどうしようとしているのか。

①「東郷梨地域連携プロジェクト事業」は、耕作放棄地化を防ぐため、農福連携、農商工連携による管理方法の調査事業であると思う。栽培、経営の現状と問題点について問う。

②水田でも、耕作放棄地化が進んでいる。地域に担い手のいる間に、協業生産型営農組織の育成を進めてはどうか。



機械の共同利用による
病虫害防除（長江）

【町長】①平成27年に35アールで開始。今年は70アールとなった。条件の良い梨園の確保ができず、技術力の問題もあり採算ベースにのっていない。関係機関と連携し、条件の良い農地の確保と技術指導に力を入れていく。

②町内には現在、稲作と転作を一体経営として組合員全体による協業型で取り組んでいる営農組織はない。若い意欲のある担い手が数人いる地域で取り組まれるなら、地域活性化にもつながり、有効だと思う。地域の担い手の状況把握をしながら研究する。

健康長寿社会を どう実現するのか

町長

交付金を有効活用し展開

【問】本町は、町民の健康づくりに取り組んでおり、平成22年の平均寿命は、県内では男性1位、女性2位で長寿の町となっていた。

①平成27年平均寿命は、男女とも県平均を下回った。この結果についてどのように分析し、今後どのように対応するのか。

②本町の特定健診実施率は、平成20年に始まって以来ずっと30%未満である。一人ひとりの健康づくりを支援するため、低所得者の人の検診料を無料にしてはどうか。



今年も受けよう特定健診
(町内集団検診)

【町長】①平均寿命が低下した理由として、死亡者の年齢、原因などを詳細に調べることはできない。

沖繩県の状況の分析結果では、若い世代の「早死」の多さが沖繩県の平均寿命を低くしている。本町の状況もこれではな

いかと思う。

②特定健診は9割補助を行っている。近年は一人当たりの医療費が高騰し大変厳しい運営状況である。

交付金事業を有効利用し、事業展開していきたい。

核ごみ拒否条例の制定を



中村 雅久

町長

現時点では考えていない

【問】①人形峠環境技術センター内の、低レベル放射性廃棄物の埋設計画は、安全検証が目的だが、事実上の最終処分となると新聞報道された。これに対して、町長の見解は。

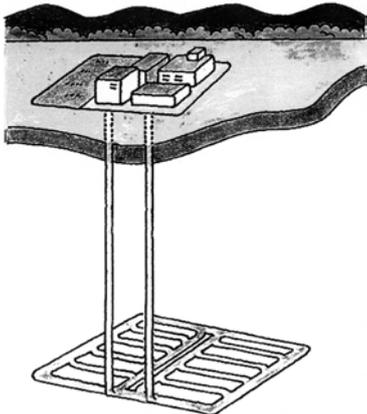
②昨年、科学的特性マップが公表された。高レベルでも、なしくずし的に拡大する恐れがあるのではないかと危惧している。

【町長】①同センターは、敷地内処分の検討について、最終処分を前提としていないと、県に説明した。

放射線廃棄物の最終処分の問題は、必ず解決しなければならない課題だと考えている。

鳥取県知事は、県・三朝町・原子力機構で、安全協定のような新しいルールづくりの必要性を示された。それらの内容や動向を注視したい。

②各自治体がそろって拒否条例を制定することは、問題解決を困難とすることだと考え、現時点では拒否条例の制定は考えていない。



地層処分のイメージ図

子ども医療費無料化を

町長

しばらく現状のまま

【問】未就学児の医療費の無料化について6月議会で議論され、町長は、「市町村での国保税額の一本化が進められていくなか、現時点で単独実施は考えていない。関係会議などで議論を深めたい。」と答弁された。

それ以降どのような議論がかわされ、無料化に向けた動きはどのようなものか問う。

中部でまとまれば、県も前向きに検討すると聞いている。無料化の実現に向けて一層の努力をお願いしたい。



うまく乗れるかな (たじりこども園)

【町長】子どもの医療費助成は、県事業で実施している「特別医療制度(小児区分)」で、平成28年度から18歳に到達する年度までとされ、平成29年度からは、小児に対する訪問看護に係る医療費も対象となるなど、

年々助成制度が拡充されてきた。

小児医療費に限らない形で、本町独自の減免制度を設けており、しばらくはそのまま様子を見たいと考えている。

積極的な生活困窮者支援を

町長

きめ細やかな支援を行っていく



山田 達美

【問】①これまで行ってきた生活困窮者自立支援の効果と課題、今後の取り組みを問う。

②町内のひきこもりの実態を把握しているか。就労準備支援事業など、ひきこもり支援事業の現状を問う。

③障害年金は、日常生活に支障がある場合、現役世代でも受け取ることができるが、知られていない。周知の強化を要請する。

④ネット依存症の現実と怖さを、しっかりと伝えることが大切だ。どう取り組まれるか。

【町長】①支援調整会議など関係機関と連携し、より効果的支援、自立に向けてきめ細やかな支援を行っていく。

②早期に実態把握に努め、就労準備支援事業など積極的に活用し、支援してきたい。

③制度の丁寧な説明に心がけ、周知に努める。

④国、県の動向を見ながら正しい知識と理解を広めるための啓発に努める。

【教育長】学校では、ネット依存の危険性について指導を行っている。引き続き指導していく。



とっとりひきこもり生活支援センター（北栄町）

「ハワイゆ〜たうん」の入浴料に補助を

町長

今のところ考えていない

【問】①平日昼間の利用は高齢者が多く、時間をかけてゆっくりと利用されていると聞く。なかには体操や、湯船で水中歩行をする人もあり、健康維持に利用されている。

また、高齢者の外出を促す効果もあり、利用者が増えれば健康保険、介護保険の低減につながると思われる。70歳以上の町民に補助を出すことを提案する。

②水道の蛇口が、水と湯の混合栓で使いにくいとの声がある。温度設定栓に変更することを提案する。



ハワイゆ〜たうん（上浅津）

【町長】①利用者に満足していただくための維持管理費用を考慮し、利用料をかなり低額に設定している。現在のところ70歳以上の町民への補助は、考えていない。

②現状のタイプとの違いは、温度調節を2つのハ

ンドルするか、1つのダイヤルにするのかの違いであり、不便だということ意見はあまり聞いていない。次期更新時まで現状のままをお願いしたい。

3期12年の評価は

町長

良い点を伸ばしてまちづくり



増井 久美

【問】町長は、今後4年間、本町の舵取りをされるわけだが、3期12年間の振り返って、本町の良い点、悪い点をどう評価しているのか。

良い点を伸ばし、悪い点を補うためにどうするのか。

旧東郷・泊・羽合の3町村が合併して14年が経過した。

増加する羽合地区の子どもたちの通う小学校やこども園、人口減少の続く、泊・東郷地区の山間部への対応、高齢化対策など、多くの問題にどう向き合うのか。



敬老会は参加者が増えつつある

【町長】今後、特に取り組む課題として、人口問題の克服については、都市部での移住セミナー開催。産業振興については、

商業の振興をはかる。地域の強化については、自助・共助の意識を育て、その実践支援を行う。

まちづくりの基本として、良い点を伸ばすために、優れた点を活かし、魅力や活気を生み出す。

悪い点を補うには、課題を克服するための方策を講じ、暮らしやすい地域をつくることに取り組む。

保育行政の充実を

町長

民間での小規模保育園を検討

【問】子育て支援センターを利用して、9月から0歳児を受け入れるということだが、体制はとれているか。

本町は、子育てがしやすい町としてさまざまな支援をしてきた。出生率も県内2位である。しかし、保育の現場は大変な状況である。羽合地区では今後も入園児が増えると思うが、どう対処していくのか。

また、保育士不足の状況はずっと続いている。来年度から保育料無料化も考えられ、もっと入園児が増えると思う。保育士確保を行政全体で取り組む体制づくりをするべきでは。



入園希望がかなうこども園へ
(はわいこども園の園児)

【町長】児童福祉施設の設備に関して、はわいこども園のほかく室は、子育て支援センターを改築し、あと10人程度の受け入れを可能にしている。

備品についても、購入など必要な措置を講じている。

入園申込で第1希望がかなわなかったことに関しては、民間による小規模保育園の設置を検討している。

保育士の確保として、通常の採用以外に、町独自の採用試験を実施し、内定者を出している。

町民インタビュー

さくら工芸品工房で「さくらの工房」



代表

桑田 達也さん

今秋、「さくらの工房」をオープンさせていただくことになりました。新たな文化芸術の情報発信拠点・交流拠点として、まちの活性化にも貢献できればと思います。

地域の皆さまや観光客の方々にも気軽にご利用いただき、楽しいふれあいの場が創出できれば、これほど嬉しいことはありません。サードプレイスとしても、ぜひ、ご自身の作品を手に、東郷湖畔で夕陽を眺めながら、美味しい珈琲でおくつろぎください。

また、今年制定された「障害者の文化芸術活動推進法」に基づき、誰でも絵画や陶芸などに親しめる機会をつくり、優れた作品を多くの方々に紹介し

ていきたいと考えています。

「さくらの工房」では、四季折々の風景と重ね合わせながら、子どもからお年寄りまで参加できるさまざまなイベントも企画しています。こちらもご期待ください。

スタッフ一同、頑張ってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。議会の日程は、広報ゆりはま、防災無線放送、町ホームページでお知らせします。

編集後記

今年もまた多くの災害が発生している。長雨豪雨、大型台風や大地震によって多くの方が負傷され、亡くなられた。心よりのお悔み、お見舞いを申し上げます。

国土強靱化が言われて久しいが、復旧、復興に追われ、将来不安への対応にまで至っていない。

異常気象、巨大な台風や地震の発生が常態化してきた災害列島日本。防災・減災に向けて国力、地域力をかけ、全力で取り組まなければならない。政治・行政の責任は重い。

(記 寺地)

【編集】

議会広報常任委員会